

日本海ガス株式会社

2026 年 7 月 30 日

原料費調整（スライド）制度に基づく 2026 年 9 月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。

敬具

記

■「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2026 年 9 月検針分に適用される従量料金単価を、2026 年 8 月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m³あたり－2 円 33 銭（税込）調整させていただきます。

■標準家庭（1 か月のご使用量が 20 m³）の場合、ガス料金は月額 6,276 円（税込）となり、47 円（0.74%）お支払額が減少します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となる LNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m³あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる 2026 年 4 月～2026 年 6 月の LNG、プロパンの平均原料価格を 2026 年 4～5 月の貿易統計確報値および 2026 年 6 月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は 93,980 円／t となります。2026 年 8 月検針分のガス料金調整額を算定した 2026 年 3 月～2026 年 5 月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる 2026 年 4 月～2026 年 6 月の実績平均原料価格は、トンあたり 1,840 円上昇することになりますが、政府の支援により 18.0 円／m³（税込）が値引きされますので、料金調整は上記のとおりとなります。

政府の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」の詳細につきましては、資源エネルギー庁の特設サイト「電気・ガス料金支援」をご覧ください。

(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>)

●2026 年 9 月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2026 年 8 月検針分の従量料金単価に対して、－2.33 円の調整となります。

料金表	1 か月の 使用量	基本料金 (1 か月あたり)	従量料金単価 (1 m ³ あたり)	
			2026 年 9 月	2026 年 8 月
A	0 m ³ から 10 m ³ まで	1,215.61 円	276.97 円	279.30 円
B	10 m ³ を超え 170 m ³ まで	1,694.11 円	229.12 円	231.45 円
C	170 m ³ を超え 500 m ³ まで	10,576.83 円	176.87 円	179.20 円
D	500 m ³ を超える	12,721.83 円	172.58 円	174.91 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

※政府の支援により 2026 年 8 月従量料金単価は 14.0 円/m³（税込）、9 月従量料金単価は 18.0 円/m³（税込）が値引きされています。

●2026 年 9 月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1 か月のご使用量が 20 m³）の場合

2026 年 9 月適用料金 (a)	2026 年 8 月適用料金 (b)	増減 (c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,276 円	6,323 円	－47 円	－0.74 %

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む 1 か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの 2021 年～2025 年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円／t）および従量料金単価調整額（円／m³）

	2026.4～2026.6	2026.3～2026.5	基準平均原料価格
LNG 平均輸入価格(貿易統計値)	93,150	91,540	97,030
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	121,240	109,980	95,050
平均原料価格(LNG 換算)	93,980	92,140	97,170

■2026 年 4 月～2026 年 6 月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG 平均輸入価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0231 \\
 &= 93,150 \text{ 円/t} \times 0.9788 + 121,240 \text{ 円/t} \times 0.0231 \\
 &= 93,975.864 \text{ 円/t (10 円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{93,980 \text{ 円/t}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 93,980 \text{ 円/t} - 97,170 \text{ 円/t} \\
 &= -3,190 \text{ 円/t (100 円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{-3,100 \text{ 円/t}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1 m³あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \{ \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times (1 + \text{消費税率}) \} - \text{政府の支援による値引き} \\
 &= \{ -3,100 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times 1.1 \} - \underline{18.0 \text{ 円}} \\
 &= -20.728 \\
 &= \underline{-20.73 \text{ 円/m}^3}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額 100 円につき従量料金単価を 0.088 (0.080×1.1) 円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第 3 位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第 3 位以下を切上げます。

※政府の支援により、18.0 円/m³（税込）が値引きされています。

	2026 年 9 月	2026 年 8 月	増減
調整額 (円/m ³ ・税込)	－20.73	－18.40	－2.33

以上

本件に関するお問い合わせ

日本海ガス株式会社

管理部料金センター 長谷川 （TEL：076-442-5020）